

=令和4年度 第2回 三方原中学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年5月27日(金)14時から15時30分まで
- 2 開催場所 三方原中学校 調理室
- 3 出席委員 中川 秀三、三輪 さやか、木下 直樹、
中村 雅俊、袴田 圭一、串 のり子
- 4 欠席委員 加茂 哲夫、白石 優
- 5 オブザーバー 山中 昭典(三方原協働センター所長)
- 6 学 校 池沼 光徳(校長)、渡辺 博幸(教頭)、
坪井 研(CS担当)、外山 直世(CSディレクター)
- 7 教育委員会 小川 誠司(教育総務課)
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
○総合的な学習の時間について
(1)1年地域学習について
(2)2,3年、8組について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 外山 直世
- 11 会議記録

司会の渡辺から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

○総合的な学習の時間について

(1)1年地域学習について

- ・これまでの活動を踏まえながらも、前回の学校運営協議会の話し合いを基に、新しい取り組みをして行く必要がある。(袴田委員)
- ・今回の良いことは、SDGSというテーマを決めていただいているところだ。事前学習をしてから活動するのはとても良いと思う。SDGSと決めていただいたので、講師依頼も頼みやすかった。(中村委員)
- ・自分たちでSDGSを考えるのは良いことだ。何ができるか考えることが必要だと思う。学校でもSDGSの取り組みができれば、自分たちもやってみようという気になる。(串委員)
- ・ホンダ工場見学も良いと思うが、遠い。徒歩圏内だとしたら無理かもしれない。(三輪委員)
- ・理容系なら紹介ができる。来年に考えていただけたらぜひ紹介します。(木下委員)

(2)2.3年生 8組について

- ・リアルな話は大事。どういう仕事をして、なぜ働くのかということについて、もっと子どもが身近に感じる人、先輩の話とか良いと思う。失敗談は必要。なぜ失敗したかと言う話。福祉関係については、自分が車いす生活を経験して、浜松はまだまだだと感じた。バリアフリーになっていない。車いす用のトイレが汚いなど。そういう立場に立って考えることができると良い。福祉については地域で協力し合い助け合う、体験が必要だと思う。(袴田委員)
- ・ヤングケアラーという問題がある。(中川委員)

○その他報告事項等

司会から、次回の会議は令和4年9月27日(火)午後2時から調理室で、開催する旨の報告があった。